

2017年度

公益社団法人日本雪氷学会北海道支部
研究発表会

プログラム



日時	2017年5月12日（金） 13:00 ～ 17:00
	2017年5月13日（土） 9:00 ～ 17:00
会場	北海道大学 学術交流会館 第1会議室

発表プログラム(一題 15 分、発表 12 分・質疑3分) 5 月 12 日(金)

13:00-13:15	支部長あいさつ・2016 年度北海道雪氷賞(北の風花賞・北の六華賞・北の蛍雪賞)表彰式	支部長・北海道雪氷賞選考委員長
-------------	---	-----------------

Session I (雪氷物理①) 13:15-14:30 座長:石井吉之 (北海道大学低温科学研究所)

13:15-13:30	北海道における冬季土壌凍結深の測定を通じたアウトリーチ活動	原田 鉦一郎(宮城大学)ほか
13:30-13:45	札幌とその周辺における 2016-2017 年冬期の氷紋の観察	大鐘卓哉(小樽市総合博物館・北見工業大学大学院)ほか
13:45-14:00	雪結晶の散乱光照明による顕微鏡写真撮影法	油川英明(雪氷ネットワーク)
14:00-14:15	六花型霜の生成について	油川英明(雪氷ネットワーク)ほか
14:15-14:30	ドローンを用いた上位蜃気楼の発生状況に関する事例研究	石原 宙(北見工業大学大学院)ほか

Session II (雪国とくらし①・樹木) 14:45-16:00 座長:根本昌宏 (日本赤十字北海道看護大学)

14:45-15:00	厳冬期の避難所における既設型シェルターシステムの有用性	根本昌宏(日本赤十字北海道看護大学)
15:00-15:15	豪雪地児童生徒の全身持久性	須田 カ(雪氷ネットワーク)
15:15-15:30	苫前町古丹別地区流雪溝利用者を対象としたアンケート調査報告	小西信義(北海道開発技術センター)ほか
15:30-15:45	ディーブラーニングを活用した雪道転倒による救急搬送者数予測の試み	星野 洋(シー・イー・サービス)
15:45-16:00	積雪の保湿保温効果を利用した北国における常緑性低木類の越冬手法	斎藤新一郎(北海道開発技術センター)

Session III (湖水, 海水, 氷河) 16:15-17:00 座長:杉山慎 (北海道大学)

16:15-16:30	摩周湖の結氷から解氷まで	東海林明雄(湖沼雪氷研究所)ほか
16:30-16:45	グリーンランド北西部 Bowdoin 氷河における末端位置の変動と海底地形の関係	浅地 泉(北海道大学低温科学研究所/北海道大学環境科学院)ほか
16:45-17:00	南パタゴニア氷原・グレイ氷河の末端変動メカニズムの解明	山本淳博(北海道大学低温科学研究所/環境科学院)ほか

17:00-	事務局からの諸連絡	
--------	-----------	--

1 日目終了後、懇親会を予定しています。振るってご参加ください。

発表プログラム(一題 15 分、発表 12 分・質疑3分) 5 月 13 日(土)

SessionⅣ(道路雪氷) 9:00ー11:00

座長:大廣智則(ネクスコ・エンジニアリング北海道)

9:00-9:15	コハク酸二ナトリウムの凍結防止剤としての利用可能性に関する研究	佐藤賢治(寒地土木研究所)ほか
9:15-9:30	近赤外線を用いた凍結および圧雪路面の計測試験	中島知幸(寒地土木研究所)ほか
9:30-9:45	透明導電膜型WEBカメラ着雪対策カバーの開発	大廣智則(ネクスコ・エンジニアリング北海道)ほか
9:45-10:00	インターバルカメラによる防雪柵前後の吹きだまり形状の撮影	永田泰浩(北海道開発技術センター)ほか
	(休憩 15 分)	
10:15-10:30	道路防雪林の下枝の枯れ上がりについて ～事例からみた対策～	阿部正明(北海道開発技術センター)ほか
10:30-10:45	近赤外偏光分光計測による路面状況の識別	岩間大輔(北海道科学大学短期大学部)ほか
10:45-11:00	道路施設からの落雪危険防止について	竹内政夫(雪氷ネットワーク)ほか

SessionⅤ(雪氷物理②, ガスハイドレート) 11:15ー12:00

座長:八久保晶弘(北見工業大学)

11:15-11:30	天然ガスハイドレート生成時のメタン炭素安定同位体分別 ～バイカル湖南湖盆のハイドレート含有湖底堆積物の例～	八久保晶弘(北見工業大学)ほか
11:30-11:45	メタン・硫化水素混合ガスハイドレートにおけるゲストガス分子の占有性	柿崎圭人(北見工業大学)ほか
11:45-12:00	積雪における可視光の透過実験 ～青い雪～	三浦辰也(北海道教育大学札幌校、* 現北海道大学)ほか

SessionⅥ(雪国とくらし②) 13:00ー14:15

座長:細川和彦(北海道科学大学)

13:00-13:15	雪洞・テント・車内の気温変化比較 ～北海道十勝岳山麓, 白金温泉での夜間変化～	日下 哉(北海道土質コンサルタント)ほか
13:15-13:30	冬期避難所における段ボールベッドの防寒・保温効果の評価	水谷嘉浩(J パックス・京都工芸繊維大学大学院)ほか
13:30-13:45	雪害リスクを生活情報として提供するための研究	細川和彦(北海道科学大学)ほか
13:45-14:00	外来血液透析者の冬季の生活実態と災害への備え	二本柳玲子(北海道科学大学)ほか
14:00-14:15	アウトドア・レジャー(冬キャンプ)を北海道の冬季防災に活かす「アウトドア寒冷地防災学」を構築する	藤澤 誠(北海道防災教育研究センター)

SessionⅦ(積雪調査, なだれ) 14:30-15:30**座長:下山 宏(北海道大学低温科学研究所)**

14:30-14:45	道央・道東 32 箇所における広域積雪調査報告(2017 年)	白川龍生(北見工業大学)
14:45-15:00	2016年2月25日ニセコ春の滝雪崩事故調査報告	下山 宏(北海道大学低温科学研究所)ほか
15:00-15:15	低気圧接近時の短期間多量降雪における積雪密度の時間変化に関する観測事例について	高橋 渉(寒地土木研究所)ほか
15:15-15:30	2 回の航空レーザ測量により計測した積雪分布のパターンの類似性に関する研究	西原照雅(寒地土木研究所)ほか

SessionⅧ(吹雪) 15:45-16:45**座長:大宮 哲(寒地土木研究所)**

15:45-16:00	気象庁の視程観測データを用いた冬季視程の統計解析	呉 迪(北海道大学大学院環境科学院)ほか
16:00-16:15	片切土における吹きだまりの発達過程に関する調査 ～2016 年度冬期における弟子屈町での観測事例～	武知洋太(寒地土木研究所)ほか
16:15-16:30	新たな吹雪センサーとしての大気電場計の可能性	大宮 哲(寒地土木研究所)ほか
16:30-16:45	多高度 SPC 連続観測による吹雪浮遊層の粒径分布解析	佐藤隆光(日本気象協会北海道支社)ほか

16:45-	諸連絡・閉会	
--------	--------	--

共同発表の氏名欄は発表者(筆頭著者)のみを記載

